

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年2月13日

【四半期会計期間】 第202期第3四半期(自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日)

【会社名】 スルガ銀行株式会社

【英訳名】 Suruga Bank Ltd.

【代表者の役職氏名】 取締役社長 岡野光喜

【本店の所在の場所】 静岡県沼津市通横町23番地

【電話番号】 (沼津)055-962-0080(大代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員 経営管理部長 秋田達也

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区日本橋室町1丁目7番1号
スルガ銀行株式会社 経営管理部

【電話番号】 (東京)03-3279-5527

【事務連絡者氏名】 経営管理部 財務部長 原明弘

【縦覧に供する場所】 スルガ銀行株式会社 東京支店
(東京都中央区日本橋室町1丁目7番1号)

スルガ銀行株式会社 横浜支店
(神奈川県横浜市中区尾上町5丁目67番地の1)

株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

		平成23年度第3 四半期 連結累計期間	平成24年度第3 四半期 連結累計期間	平成23年度
		(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	(自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)
経常収益	百万円	80,132	81,988	107,297
うち信託報酬	百万円	—	—	0
経常利益	百万円	22,269	25,955	29,717
四半期純利益	百万円	11,368	15,433	—
当期純利益	百万円	—	—	15,560
四半期包括利益	百万円	10,277	16,811	—
包括利益	百万円	—	—	17,325
純資産額	百万円	190,746	210,813	197,271
総資産額	百万円	3,436,527	3,614,888	3,484,294
1株当たり四半期純利益金額	円	47.68	65.47	—
1株当たり当期純利益金額	円	—	—	65.40
潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益金額	円	—	—	—
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益金額	円	—	—	—
自己資本比率	%	5.4	5.7	5.5
信託財産額	百万円	5	5	5

		平成23年度第3 四半期 連結会計期間	平成24年度第3 四半期 連結会計期間
		(自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日)	(自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	円	14.64	22.10

- (注) 1 当社および国内連結子会社の消費税および地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。
- 2 第3 四半期連結累計期間に係る1株当たり情報の算定上の基礎は、「第4 経理の状況」中、「1 四半期連結財務諸表」の「1株当たり情報」に記載しております。
- 3 自己資本比率は、((四半期)期末純資産の部合計－(四半期)期末新株予約権－(四半期)期末少数株主持分)を(四半期)期末資産の部の合計で除して算出しております。
- 4 信託財産額は、「金融機関の信託業務の兼営等に関する法律」に基づく信託業務に係るものを記載しております。なお、該当する信託業務を営む会社は提出会社1社であります。
- 5 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額および潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が希薄化効果を有していないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3 四半期連結累計期間において、当社および当社の関係会社が営む事業の内容については、重要な変更はありません。また、主要な関係会社についても、異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」の内容について、重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

該当ありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

連結ベースの主要勘定につきまして、貸出金の当第3四半期連結会計期間末残高は、前連結会計年度末に比べ、個人ローン（単体）が1,073億31百万円増加し、全体で854億32百万円増加の2兆6,977億62百万円となりました。有価証券の当第3四半期連結会計期間末残高は、前連結会計年度末比649億67百万円減少し、2,640億76百万円となりました。預金の当第3四半期連結会計期間末残高は、前連結会計年度末に比べ、個人預金が1,554億22百万円増加し、全体では1,074億57百万円増加の3兆3,656億92百万円となりました。

連結ベースの当第3四半期連結累計期間の損益の状況につきまして、経常収益は、貸出金利息の増加による資金運用収益の増加等により、前年同四半期比18億56百万円増加し819億88百万円となりました。経常費用は、与信費用の減少等により、前年同四半期比18億30百万円減少の560億33百万円となりました。この結果、経常利益は、前年同四半期比36億86百万円増加し259億55百万円となりました。四半期純利益は、前年同四半期比40億65百万円増加し154億33百万円となりました。四半期包括利益は、前年同四半期比65億34百万円増加し168億11百万円となりました。

国内・国際業務部門別収支

当第3四半期連結累計期間の部門別収支は、資金運用収支が国内業務部門で652億45百万円、国際業務部門で6億69百万円、全体で659億14百万円、役員取引等収支が国内業務部門で△8億7百万円、国際業務部門で18百万円、全体で△7億88百万円、その他業務収支が国内業務部門で9億63百万円、国際業務部門で59百万円、全体で10億23百万円となりました。

種類	期別	国内業務部門	国際業務部門	相殺消去額(△)	合計
		金額(百万円)	金額(百万円)	金額(百万円)	金額(百万円)
資金運用収支	前第3四半期連結累計期間	60,873	941	—	61,815
	当第3四半期連結累計期間	65,245	669	—	65,914
うち資金運用収益	前第3四半期連結累計期間	63,089	1,094	△6	64,177
	当第3四半期連結累計期間	67,355	897	△54	68,198
うち資金調達費用	前第3四半期連結累計期間	2,215	153	△6	2,361
	当第3四半期連結累計期間	2,110	228	△54	2,284
信託報酬	前第3四半期連結累計期間	—	—	—	—
	当第3四半期連結累計期間	—	—	—	—
役員取引等収支	前第3四半期連結累計期間	234	19	—	253
	当第3四半期連結累計期間	△807	18	—	△788
うち役員取引等収益	前第3四半期連結累計期間	9,413	35	—	9,449
	当第3四半期連結累計期間	9,033	33	—	9,066
うち役員取引等費用	前第3四半期連結累計期間	9,179	16	—	9,195
	当第3四半期連結累計期間	9,840	15	—	9,855
その他業務収支	前第3四半期連結累計期間	1,494	79	—	1,574
	当第3四半期連結累計期間	963	59	—	1,023
うちその他業務収益	前第3四半期連結累計期間	4,223	79	—	4,303
	当第3四半期連結累計期間	3,285	59	—	3,345
うちその他業務費用	前第3四半期連結累計期間	2,729	—	—	2,729
	当第3四半期連結累計期間	2,322	—	—	2,322

- (注) 1 当社および連結子会社は海外拠点を有していないため、国内、海外の区分に代えて国内業務部門、国際業務部門の区分で記載しております。
- 2 国内業務部門は当社および連結子会社の円建取引、国際業務部門は当社および連結子会社の外貨建取引、円建対非居住者取引および特別国際取引勘定であります。
- 3 資金調達費用は金銭の信託運用見合費用（前第3四半期連結累計期間0百万円 当第3四半期連結累計期間0百万円）を控除して表示しております。
- 4 相殺消去額は国内業務部門と国際業務部門間の資金貸借の利息であります。

国内・国際業務部門別役務取引の状況

当第3四半期連結累計期間の役務取引等収益は、国内業務部門で前年同四半期比3億80百万円減少し90億33百万円、国際業務部門で前年同四半期比2百万円減少し33百万円、全体で90億66百万円となりました。一方役務取引等費用は、国内業務部門で前年同四半期比6億61百万円増加し98億40百万円、国際業務部門で前年同四半期比1百万円減少し15百万円、全体で98億55百万円となりました。

種類	期別	国内業務部門	国際業務部門	合計
		金額(百万円)	金額(百万円)	金額(百万円)
役務取引等収益	前第3四半期連結累計期間	9,413	35	9,449
	当第3四半期連結累計期間	9,033	33	9,066
うち預金・貸出業務	前第3四半期連結累計期間	5,204	—	5,204
	当第3四半期連結累計期間	4,862	—	4,862
うち為替業務	前第3四半期連結累計期間	2,182	32	2,214
	当第3四半期連結累計期間	2,149	29	2,178
うち信託報酬	前第3四半期連結累計期間	—	—	—
	当第3四半期連結累計期間	—	—	—
うち証券関連業務	前第3四半期連結累計期間	126	—	126
	当第3四半期連結累計期間	101	—	101
うち代理業務	前第3四半期連結累計期間	1,193	—	1,193
	当第3四半期連結累計期間	1,170	—	1,170
うち保護預り・貸金庫業務	前第3四半期連結累計期間	222	—	222
	当第3四半期連結累計期間	235	—	235
うち保証業務	前第3四半期連結累計期間	68	3	72
	当第3四半期連結累計期間	24	4	29
うちその他業務	前第3四半期連結累計期間	415	—	415
	当第3四半期連結累計期間	488	—	488
役務取引等費用	前第3四半期連結累計期間	9,179	16	9,195
	当第3四半期連結累計期間	9,840	15	9,855
うち為替業務	前第3四半期連結累計期間	632	16	648
	当第3四半期連結累計期間	662	15	677

(注) 当社および連結子会社は海外拠点を有していないため、国内、海外の区分に代えて国内業務部門、国際業務部門の区分で記載しております。

国内・国際業務部門別預金残高の状況

○ 預金の種類別残高(末残)

種類	期別	国内業務部門	国際業務部門	合計
		金額(百万円)	金額(百万円)	金額(百万円)
預金合計	前第3四半期連結会計期間	3,055,913	157,370	3,213,284
	当第3四半期連結会計期間	3,222,421	143,271	3,365,692
うち流動性預金	前第3四半期連結会計期間	1,181,839	—	1,181,839
	当第3四半期連結会計期間	1,204,341	—	1,204,341
うち定期性預金	前第3四半期連結会計期間	1,847,407	—	1,847,407
	当第3四半期連結会計期間	1,993,424	—	1,993,424
うちその他	前第3四半期連結会計期間	26,666	157,370	184,037
	当第3四半期連結会計期間	24,655	143,271	167,926
譲渡性預金	前第3四半期連結会計期間	—	—	—
	当第3四半期連結会計期間	—	—	—
総合計	前第3四半期連結会計期間	3,055,913	157,370	3,213,284
	当第3四半期連結会計期間	3,222,421	143,271	3,365,692

(注) 1 当社および連結子会社は海外拠点を有していないため、国内、海外の区分に代えて国内業務部門、国際業務部門の区分で記載しております。

2 流動性預金＝当座預金＋普通預金＋貯蓄預金＋通知預金

3 定期性預金＝定期預金＋定期積金

貸出金残高の状況

○ 業種別貸出状況(末残・構成比)

業種別	前第3四半期連結会計期間		当第3四半期連結会計期間	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
国内 (除く特別国際金融取引勘定分)	2,569,638	100.00	2,697,762	100.00
製造業	63,760	2.48	58,626	2.17
農業、林業	7,067	0.28	6,576	0.25
漁業	738	0.03	837	0.03
鉱業、採石業、砂利採取業	20	0.00	—	—
建設業	32,806	1.28	29,760	1.10
電気・ガス・熱供給・水道業	10,173	0.40	8,221	0.31
情報通信業	1,703	0.07	1,473	0.06
運輸業、郵便業	16,597	0.65	14,090	0.52
卸売業、小売業	59,683	2.32	54,802	2.03
金融業、保険業	66,420	2.58	61,558	2.28
不動産業、物品賃貸業	99,516	3.87	93,112	3.45
各種サービス業	60,457	2.35	53,713	1.99
国・地方公共団体	26,513	1.03	23,686	0.88
その他	2,124,185	82.66	2,291,308	84.93
特別国際金融取引勘定分	—	—	—	—
政府等	—	—	—	—
金融機関	—	—	—	—
その他	—	—	—	—
合計	2,569,638	—	2,697,762	—

「金融機関の信託業務の兼営等に関する法律」に基づく信託業務の状況

「金融機関の信託業務の兼営等に関する法律」に基づき信託業務を営む会社は提出会社1社です。

○ 信託財産の運用/受入状況（信託財産残高表）

資産				
科目	前連結会計年度 (平成24年3月31日)		当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
現金預け金	5	100.00	5	100.00
合計	5	100.00	5	100.00

負債				
科目	前連結会計年度 (平成24年3月31日)		当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
金銭信託	5	100.00	5	100.00
合計	5	100.00	5	100.00

(注) 1 共同信託他社管理財産 前連結会計年度47百万円 当第3四半期連結会計期間47百万円

2 共同信託他社管理財産については、前連結会計年度および当第3四半期連結会計期間において職務分担型共同受託方式による信託財産はありません。

3 元本補てん契約のある信託については、前連結会計年度および当第3四半期連結会計期間の取扱残高はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

① 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	400,000,000
計	400,000,000

② 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成24年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年2月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	258,139,248	同左	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は1,000株であり ます。
計	258,139,248	同左	—	—

(2) 【新株予約権等の状況】

該当ありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当ありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当ありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成24年10月1日～ 平成24年12月31日	—	258,139	—	30,043	—	18,585

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

平成24年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 22,454,000	—	—
完全議決権株式(その他)	普通株式 233,741,000	233,741	—
単元未満株式	普通株式 1,944,248	—	—
発行済株式総数	258,139,248	—	—
総株主の議決権	—	233,741	—

(注) 平成24年12月31日現在の「単元未満株式」には、当社所有の自己株式674株が含まれております。

② 【自己株式等】

平成24年12月31日現在

所有者の氏名 または名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) スルガ銀行株式会社	静岡県沼津市通横町23番地	22,454,000	—	22,454,000	8.69
計	—	22,454,000	—	22,454,000	8.69

2 【役員の状況】

- (1) 新任役員
該当ありません。
- (2) 退任役員
該当ありません。
- (3) 役職の異動
該当ありません。

第4 【経理の状況】

- 1 当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しておりますが、資産および負債の分類ならびに収益および費用の分類は、「銀行法施行規則」（昭和57年大蔵省令第10号）に準拠しております。
- 2 当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（自平成24年10月1日 至平成24年12月31日）および第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人の四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
現金預け金	47,932	44,881
コールローン及び買入手形	391,386	493,733
商品有価証券	50	23
金銭の信託	1,113	978
有価証券	329,043	264,076
貸出金	※1 2,612,330	※1 2,697,762
外国為替	3,434	3,219
リース債権及びリース投資資産	5,830	5,750
その他資産	41,198	47,341
有形固定資産	48,564	48,893
無形固定資産	17,803	22,375
繰延税金資産	15,320	14,630
支払承諾見返	3,835	4,715
貸倒引当金	△33,548	△33,494
資産の部合計	3,484,294	3,614,888
負債の部		
預金	3,258,235	3,365,692
コールマネー及び売渡手形	42	—
借入金	3,115	3,140
外国為替	1	2
その他負債	17,348	26,790
賞与引当金	647	—
役員賞与引当金	60	—
退職給付引当金	230	252
役員退職慰労引当金	2,723	2,659
睡眠預金払戻損失引当金	282	207
偶発損失引当金	479	563
繰延税金負債	20	50
支払承諾	3,835	4,715
負債の部合計	3,287,022	3,404,075
純資産の部		
資本金	30,043	30,043
資本剰余金	19,501	19,501
利益剰余金	161,336	173,704
自己株式	△17,018	△17,260
株主資本合計	193,862	205,988
その他有価証券評価差額金	1,227	2,570
繰延ヘッジ損益	16	△71
その他の包括利益累計額合計	1,243	2,499
新株予約権	760	797
少数株主持分	1,404	1,528
純資産の部合計	197,271	210,813
負債及び純資産の部合計	3,484,294	3,614,888

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
 【四半期連結損益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
経常収益	80,132	81,988
資金運用収益	64,177	68,198
(うち貸出金利息)	62,384	66,725
(うち有価証券利息配当金)	1,255	923
役務取引等収益	9,449	9,066
その他業務収益	4,303	3,345
その他経常収益	※1 2,200	※1 1,377
経常費用	57,863	56,033
資金調達費用	2,362	2,285
(うち預金利息)	2,260	2,227
役務取引等費用	9,195	9,855
その他業務費用	2,729	2,322
営業経費	32,521	34,082
その他経常費用	※2 11,053	※2 7,488
経常利益	22,269	25,955
特別利益	106	20
固定資産処分益	106	20
特別損失	81	141
固定資産処分損	81	141
税金等調整前四半期純利益	22,294	25,834
法人税等	10,826	10,289
少数株主損益調整前四半期純利益	11,468	15,545
少数株主利益	99	111
四半期純利益	11,368	15,433

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	11,468	15,545
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,183	1,353
繰延ヘッジ損益	△7	△87
その他の包括利益合計	△1,190	1,266
四半期包括利益	10,277	16,811
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,156	16,687
少数株主に係る四半期包括利益	120	124

【会計方針の変更等】

当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更) 当社および連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。 これによる当第3四半期連結累計期間の経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
1 税金費用の処理	当社および連結子会社の税金費用は、当第3四半期累計期間を含む年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じることにより算定しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

※1 貸出金のうち、リスク管理債権は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
破綻先債権額	2,049百万円	1,981百万円
延滞債権額	35,134百万円	37,431百万円
3ヵ月以上延滞債権額	734百万円	459百万円
貸出条件緩和債権額	18,719百万円	20,015百万円
合計額	56,637百万円	59,888百万円

なお、上記債権額は、貸倒引当金控除前の金額であります。

(四半期連結損益計算書関係)

※1 その他経常収益には、次のものを含んでおります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
償却債権取立益	1,816百万円	848百万円

※2 その他経常費用には、次のものを含んでおります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
貸出金償却	2,954百万円	2,875百万円
債権売却損	2,051百万円	1,648百万円
貸倒引当金繰入額	3,430百万円	1,577百万円
株式等償却	998百万円	97百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)およびのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
減価償却費	2,967百万円	3,016百万円
のれんの償却額	一百万円	97百万円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年5月13日 取締役会	普通株式	1,574	6.50	平成23年3月31日	平成23年6月1日	利益剰余金
平成23年11月15日 取締役会	普通株式	1,538	6.50	平成23年9月30日	平成23年12月9日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当ありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月15日 取締役会	普通株式	1,533	6.50	平成24年3月31日	平成24年6月1日	利益剰余金
平成24年11月12日 取締役会	普通株式	1,532	6.50	平成24年9月30日	平成24年12月10日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当ありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの経常収益、経常利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他	合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	銀行				
経常収益					
外部顧客に対する 経常収益	74,303	5,792	80,095	36	80,132
セグメント間の内部 経常収益	72	3,614	3,687	△3,687	—
計	74,375	9,407	83,783	△3,650	80,132
セグメント利益	21,138	1,121	22,259	9	22,269

- (注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。
2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない連結子会社の行うリース業務、銀行事務代行業務、クレジットカード業務、保証業務等であります。
3. セグメント利益の調整額9百万円は、持分法による投資利益36百万円およびセグメント間取引消去額△27百万円であります。
4. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの経常収益、経常利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他	合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	銀行				
経常収益					
外部顧客に対する 経常収益	75,923	6,041	81,965	23	81,988
セグメント間の内部 経常収益	209	3,499	3,708	△3,708	—
計	76,133	9,541	85,674	△3,685	81,988
セグメント利益	25,304	531	25,836	119	25,955

- (注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。
2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない連結子会社の行うリース業務、銀行事務代行業務、クレジットカード業務、保証業務、貸金業務等であります。
3. セグメント利益の調整額119百万円は、持分法による投資利益23百万円およびセグメント間取引消去額95百万円であります。
4. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(有価証券関係)

1. 満期保有目的の債券

前連結会計年度(平成24年3月31日)

	連結貸借対照表 計上額(百万円)	時価(百万円)	差額(百万円)
国債	145,388	146,985	1,597

当第3四半期連結会計期間(平成24年12月31日)

	四半期連結貸借対照表 計上額(百万円)	時価(百万円)	差額(百万円)
国債	145,326	146,394	1,067

2. その他有価証券

前連結会計年度(平成24年3月31日)

	取得原価(百万円)	連結貸借対照表 計上額(百万円)	差額(百万円)
株式	27,109	28,646	1,536
債券	128,404	128,512	107
国債	122,656	122,664	7
地方債	954	957	2
社債	4,792	4,890	97
その他	19,801	19,780	△21
合計	175,315	176,938	1,623

当第3四半期連結会計期間(平成24年12月31日)

	取得原価(百万円)	四半期連結貸借対照表 計上額(百万円)	差額(百万円)
株式	26,810	30,248	3,438
債券	62,342	62,411	68
国債	39,076	39,064	△12
地方債	9,965	9,975	9
社債	13,300	13,372	72
その他	19,309	19,566	256
合計	108,462	112,226	3,763

(注) 前連結会計年度における減損処理額は、551百万円(うち株式551百万円)であります。

当第3四半期連結累計期間における減損処理額は、96百万円(うち株式96百万円)であります。

なお、その他有価証券の減損にあたっては、当第3四半期連結会計期間(連結会計年度)における時価の取得原価に対する下落率が50%以上の銘柄について減損処理をするとともに、30%以上50%未満の銘柄について発行会社の信用リスクや過去一定期間の時価の推移等を判断基準として減損処理を行っております。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額および算定上の基礎ならびに潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額および算定上の基礎は、次のとおりであります。

		前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年12月31日)
(1) 1 株当たり四半期純利益金額	円	47.68	65.47
(算定上の基礎)			
四半期純利益	百万円	11,368	15,433
普通株主に帰属しない金額	百万円	—	—
普通株式に係る四半期純利益	百万円	11,368	15,433
普通株式の期中平均株式数	千株	238,386	235,709
(2) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額			
(算定上の基礎)			
四半期純利益調整額	百万円	—	—
普通株式増加数	千株	—	—
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要			

(注) なお、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式を調整した計算により 1 株当たり四半期純利益金額は減少しないので、記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当ありません。

2 【その他】

剰余金の配当

平成24年11月12日開催の取締役会において、平成24年 9 月30日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）につき次のとおり決議しました。

配当金の総額	1,532百万円
1 株当たりの金額	6円50銭
支払請求の効力発生日 および支払開始日	平成24年12月10日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年2月13日

スルガ銀行株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 東 勝 次 ㊞

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 南 波 秀 哉 ㊞

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているスルガ銀行株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成24年10月1日から平成24年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、スルガ銀行株式会社及び連結子会社の平成24年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

※1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管している。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。